第９号議案

第７０回日本学校農業クラブ全国大会

平成３１年度南東北大会における

クラブ員代表者会議の発表テーマについて

|  |  |
| --- | --- |
| 第一分科会 | 第一分科会 |
| 第二分科会 | 第二分科会 |
| 第三分科会 | 第三分科会 |

Ⅰ単位クラブに関する問題

A　外への働きかけに関すること（校内から校外へ、地域と連携、海外交流等）

B　内への働きかけに関すること（クラブ員一人ひとりへ、農業クラブの活性化等）

C　農業の未来に関すること

Ⅱ連盟運営（日連・ブロック・県連）に関する問題

A　外への働きかけに関すること（校内から校外へ、地域と連携、海外交流等）

B　内への働きかけに関すること（クラブ員一人ひとりへ、農業クラブの活性化等）

C　農業の未来に関すること

**Ⅰ．単位クラブに関する問題**

**A　外への働きかけに関すること（校内から郊外へ、地域と連携、海外交流等）**

【東北海道】学校と地域が連携して取り組む農業クラブ活動の方策について。

【東北海道】地域へ農業クラブ活動を認知させるためには。

【岩手県】若者に農業の魅力を伝えるためにクラブ員ができることは何か。

【岩手県】クラブ員の活動を地域に広める取り組みにはどのようなものがあるか。

【岩手県】総合学科高校における農業クラブ活動を活発にするにはどうしたらよいか。

【岩手県】日本の農業生産者を守るために、農業高校が消費者へできることはどのようなことがあるか。（消費者への食育、教育）

【岩手県】農作物や加工品の魅力を引き立てる販売方法にはどのようなものがあるか。

【宮城県】少ないクラブ員に短い期間で農業クラブについて理解してもらい、農業クラブの活性化を図るにはどのような働きかけがあるか。

【秋田県】農業高校への入学希望者を増やすため、中学校への働きかけとして農業クラブができることは何か。

【山形県】クラブ員数を確保するために、中学生・保護者・中学校職員等に農業高校の魅力を発信するにはどのような取り組みがあるか。

【山形県】地域社会に継続して貢献できる農業クラブ活動はどうあるべきか。

【山形県】外部機関との新たな連携の形について、どのような連携があるか。

【福島県】農業クラブ活動を地域に伝えるためにはどのようにしたらよいか。

【福島県】小・中学校との連携を深めるためにはどのようにしたらよいか。

【栃木県】農業を通じた地域との交流にはどのようなことがあるか

【栃木県】農業の魅力を発信するためにできることは何か

【埼玉県】現在のＩＴ社会の中で私たちの活動を広めるためにはどのような方法が効果的か。

【千葉県】農業高校の活動を多くの方に知ってもらうためには、どうすればよいのか。

【千葉県】農業高校の魅力を地域に伝えていくために、「産・官・学」とどのような連携活動を行っていくことができるか。

【新潟県】農業を活性化するために貢献できることは何か。

【新潟県】校内のクラブ員全体が、積極的に大会参加する雰囲気をつくるにはどうしたらいいか。

【新潟県】産官学連携、地域連携を積極的に農業クラブ活動で取り組むために必要なことは何か。

【新潟県】地域の伝統食や芸能を守っていくために、クラブ員にできることは何か。

【岐阜県】地域との交流から新しい農業のスタイルを見出すために農業クラブ員ができること。

【岐阜県】農業クラブの「行事」を校外に向けて有効活用できないか。

【岐阜県】若者の農業（地元）離れが進んでいる。将来の日本（地元）のために若者の意識を高めるためにはどのような活動が必要か。地元地域と協力してできることはないのか。

【岐阜県】ＦＦＪ検定の意味や役割をクラブ員に理解してもらうにはどのような方法が良いか。

【三重県】地域に必要とされる「農業高校生」とは、いつ、どこで、どんなことが出来る人か。

【兵庫県】各単位クラブの特徴や活動を知り、高め合うにはどうすればいいか。

【兵庫県】海外交流など、農業クラブ活動の活性化をめざした新たな活動にはどのようなものがあるか。

【鳥取県】各学校における地域連携の成功例と失敗例について。

【広島県】農業の大切さを伝えるために，地域住民に対して農業高校ができることは何か。

【広島県】学校農業クラブ活動を通して，地域の伝統文化や農村文化を伝承していくためには、どのような取組が考えられるだろうか。

【長崎県】校内行事を部外の団体とどのように関わっていくか。

【長崎県】校外活動の参加生徒を一部から全生徒に広げるにはどのような手段があるか。

【長崎県】農業高校を多方面へ効果的に伝えるためには、どのような活動があるか。

【長崎県】農業高校の魅力を地域の中学校生に発信するにはどうしたらよいか。

【長崎県】地域において農業高校の生徒が関わる様々な取り組みがなされているが、もっと効果的に地域に方々に知ってもらうためにはどのようにすべきか。

【熊本県】農業以外の分野を学ぶ高校生や、分野外の仕事をされる一般の方々、小中学校の児童・生徒などに農業クラブの存在や活動を知ってもらうためには、どのような取り組みが必要か。

【熊本県】農業クラブ活動を通して地域を盛り上げるためにできることはないか。

【熊本県】農業高校生主体の販売会等を通して、農業高校ブランドの発信と、地域住民や企業などの外部との連携方法として、どのような取り組みが効果的か。

【宮崎県】地域と連携して町おこしをするには、どうすればよいか。

【宮崎県】本校では、校外での農ク活動が少ないので、農ク活動として取り組んでいる校外活動があれば教えてもらいたい。

【宮崎県】恒例行事として実施している校外活動や新規の活動を、一過性のものではなく継続していくポイントは何か。

【鹿児島県】地域における他校種との交流や出前授業に農業クラブ員がどのように関われるか。

**B　内への働きかけに関すること（クラブ員一人ひとりへ、農業クラブの活性化等）**

【東北海道】農業クラブ員一人ひとりの活動意欲を高めるために執行部ができること。

【岩手県】クラブ員が、自らが農業クラブの一員であると実感するためにはどうすればよいか。

【岩手県】クラブ員全員が活躍できる場を設けるにはどのような工夫があるか。

【岩手県】農業鑑定競技の点数を上げるためにはどうすればいいか。

【宮城県】農業クラブの行事を通して，クラブ員一人ひとりの主体性を身に付けるには，どのようにしたらよいか。

【秋田県】将来就農を目指す生徒を増やすために、農業クラブとして何かできることないか。また、意識するべきことは何か。

【山形県】単位クラブのクラブ員数の減少や併置校での農ク行事運営の困難な状況の中で、各種事務局の運営を円滑化改善することはできないか。

【山形県】農業クラブ三大目標の一つである「科学性」（課題解決能力）を養うためにどのようにしたらよいか。

【山形県】農業クラブの活動や農業クラブとは何かをクラブ員が理解するためにはなにをすればよいか。

【山形県】クラブ員自身が楽しみながら、農業クラブ３大目標を身につける取り組みはどんなものが考えられるか。

【山形県】学校内で農業クラブに所属しない生徒がいる状況で、農業クラブ活動を活性化するにはどうすればいいのか。（農工併置の学校や総合学科の学校などが増えているので、プロジェクト活動での連携や、行事での協力体制・合同開催などをどうしているのか、情報交換したい。）

【山形県】農業クラブ員の意識を変える活動とは？

【山形県】他学科との連携について、どのような連携の仕方があるか。

【福島県】農業クラブ役員を集め、より活発な活動にするためにはどのようにしたらよいか。

【福島県】他の学科の人たちに農業クラブ活動を理解してもらうためにはどのようにしたらよいか。　【栃木県】クラブ員一人ひとりが農業高校生＝農業クラブ員という自覚を持つにはどうしたらよいか

【埼玉県】農業クラブに所属している自覚を持ってもらうための取組とは。

【千葉県】クラブ員にクラブ員であることを自覚させ、高い意識を持たせるためには、どのような活動が必要であるか。

【千葉県】農業クラブ活動をもっと世間に知ってもらい、高い評価を得るためにはどのような活動が必要であるか。

【千葉県】クラブ員が興味を持ち、クラブ員として活動したいと思ってもらうためには、農業クラブ活動をどのように変えていく必要があるのか。

【新潟県】進路実現のため、クラブ員がより積極的に活動するには、何をすべきか。

【新潟県】クラブ員にもっと自覚を持たせ、活動に積極的に参加してもらうにはどうするべきか。

【新潟県】地域の振興に継続的に貢献できる農業クラブ活動にはどのようなものがあるか。

【岐阜県】校内農業クラブ員が率先して農業クラブ活動に参加をし、活動を盛り上げていくためにはどのようにしたらよいか。

【岐阜県】農業クラブ活動に対するクラブ員の意識をどう高めたらよいか。

【岐阜県】クラブ員一人一人が農業クラブ活動に対して主体的に活動するためにはどうすればよいか。

【岐阜県】クラブ員一人一人が農業を楽しむためには、どのような活動をしたら良いのか。

【岐阜県】クラブ員一人一人の活動志気を高めるためにはどのような取り組みがよいか。

【三重県】学校に必要とされる「農業クラブ員」とは、いつ、どこで、どんなことが出来る人か。

【鳥取県】学校祭における人気のあるイベントについて。

【鳥取県】兼業農家を元気にする方法はあるか。

【広島県】学校農業クラブ活動を今よりも充実したものにするために，クラブ員にできることは何か。

【広島県】生徒が主体的にプロジェクト活動等の研究活動を行うためにはどうしたらよいだろうか。　【山口県】開かれた学校づくりを進めていくために、農業クラブ員一人ひとりができることは何か。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【長崎県】単位クラブの活性化のためにどのような取り組みが必要か。

【長崎県】農業クラブ員どうしがクラブ員としての意識を高め、クラブ員としての自覚を持つには日頃からどのような活動が考えられるか。

【長崎県】クラブ員の農ク活動を積極的にするために、農業クラブ役員がすべきことは何か。

【長崎県】農業クラブ員としての意識を高めるため、現在行っている取り組みの他にどのようなものがあるか。

【熊本県】限られた人数・予算・時間で、効果的な地域課題の解決につなげるためには、どのような工夫が必要か。

【熊本県】総合学科の高校において、農業クラブ員を確保するためにどのような働きかけが有効か。

【宮崎県】ＧＡＰの理解を深めるためにはどうすればよいか。

【宮崎県】農業高校生が各地域のリーダーになるためには何が必要か。

【宮崎県】クラブ員全員が参加できる理想のイベント（行事）は何があるか。

【鹿児島県】県内の農業クラブ員との連携をはかりクラブ員一人ひとりに農業高校生としての誇りと自覚を持たせるにはどうすればよいか。

【鹿児島県】クラブ員一人ひとりの農業クラブへの関心の低さ。

【鹿児島県】産業活性化に向けて農業クラブ役員ができること。

**C　農業の未来に関すること**

【東北海道】将来農業関連産業に従事するクラブ員を増やすために私たちができること。

【岩手県】非農家の生徒が就農するためにはどのようなサポートが必要か。

【宮城県】若者の農業に対するイメージをプラスに変えるためにはどのようにしたらよいか。

【山形県】青森県連盟の五所川原農林高校が「Ｇ－ＧＡＰ」を取得し、地域や学校を盛り上げていることから、「Ｇ－ＧＡＰ」取得を目的に専門員を招聘し、講義・演習・情報交換等の機会を作れないか。

【山形県】あなたがやってみたい夢のある農業とはどのような農業があるか。

【山形県】将来農業関連産業に従事する若者を増やすためにはどのような仕掛けが必要か。

【福島県】未来の農業従事者を増やすためにはどのようにしたらよいか。

【埼玉県】現在抱えている農業問題を解決するにあたって、現在学んでいる知識や技術をどのように活かしていくか。

【千葉県】将来の農業を守っていく人材を育てるために、クラブ員としてどのような活動を行っていく必要があるのか。

【千葉県】日本の農業を守っていくために、クラブ員としてどのようなことを学んでいく必要があるのか。

【新潟県】若い世代の農業従事者を増やすために私たちがするべきことは何か。

【岐阜県】若者の農業（地元）離れが進んでいる。将来の日本（地元）のために若者の意識を高めるためにはどのような活動が必要か。地元地域と協力してできることはないのか。

【岐阜県】海外の大規模農業に対抗するために耕作放棄地等を使って農業クラブ員にできることは何か。

【岐阜県】地元農業をどのようにして支えていくことができるか。

【岐阜県】地元の小中学生に農業の魅力を伝えるためには、どのような活動をしたら良いのか。

【岐阜県】地域の若者に農業について興味を持ってもらうために農業クラブとして何ができるか。

【三重県】１０年後、社会に必要とされる「農業高校卒業生」とは、いつ、どこで、どんなことが出来る人か。

【兵庫県】農業高校生として農家と協力し、地域農業を活性化するにはどうすれないいか。

【兵庫県】持続可能な農業を目指すために、農業クラブにできることは何か。

【兵庫県】農業を学ぶ若者として、これからの日本の農業の課題にどのように対応していくか。

【鳥取県】卒業生との連携について（具体的にどうしているのか）。

【鳥取県】高大連携の具体的な内容。

【広島県】「食の安全」について，農業が抱える課題及びその解決策は何か。

【広島県】高校を卒業後に，生徒が農業を始めるためには，どのような心構えが必要だろうか

【広島県】学校農業クラブ活動を通して、中学生に農業の魅力を伝えるためには、どのような取組が考えられるだろうか。

【長崎県】農業の持つよさをクラブ員がどのようにして未来へ伝えていくか。

【長崎県】就農する生徒がほとんどいない中で、どのような活動をすると、農業を応援することになるか。

【長崎県】就農や農業関連産業を目指すクラブ員を増やすためにはどうすればよいか。

【長崎県】小中学生に農業について興味を持ってもらうには、どのような取り組みがあるか。

【長崎県】多くのクラブ員が、農業クラブ員として地域のイベント等に積極的に参加するにはどうすればよいか。

【熊本県】農業に関わりたいと思う人を増やすためには、どのような情報発信やイベント開催が必要か。

【宮崎県】就農者を増やすためにはどのような活動ができるか。

【宮崎県】農業の持つ魅力と、どんな条件が揃えば自分が農業を始めようと思うか。そして未来の農業・経営のアイデアにはどのようなものが考えられるか。

【鹿児島県】農業に意欲・興味をより深めるためにできることは何か。

【鹿児島県】生涯にわたって愛される農業とは何か。

**Ⅱ．連盟運営（日連・ブロック・県連）に関する問題**

**A　外への働きかけに関すること（校内から郊外へ、地域と連携、海外交流等）**

【東北海道】単位クラブの枠を超え、連盟が一丸となれるための交流を行う機会をどのように設けるか。

【宮城県】日本の食料自給率が低下している中，農業高校生が各自治体と協力して未来に伝えていけることはないか。

【秋田県】全国大会がブロック開催になる可能性も考え、ブロック内での交流や連携事業として今以上にできることは何か。

【山形県】２０２０年東京オリンピックの開催に併せて、農業クラブでオリンピックを盛り上げる活動はできないか。

【山形県】「インターハイ」や「国体」と同じように、県連による全国大会運営が困難な県があるのが現状である。そこで、今後のブロック開催や隣県との合同開催での、円滑な連携や役割分担をするにはどうしたらよいか。

【山形県】全国一斉に同じ日に行動できることはないか。（例えば、川の日に掃除）

【山形県】連盟全体で共通した農業クラブ活動を行い、農業クラブのPRと共に地域農業に活かせるような取り組みはないか。

【福島県】農業クラブの認知度をより広めるためにはどのようにしたらよいか。

【新潟県】一般の人に農業の魅力をどう伝えるか。

【新潟県】農業以外の専門高校と連携して、地域活性化を目指すために必要なことは何か。

【岐阜県】農業クラブ活動を一般の方に知ってもらうためにはどのようなＰＲが必要か。

【岐阜県】他県同士の農業クラブ員がより深くつながる方法はないか。

【岐阜県】農業の機械化が進む中、人と人とのつながりやコミュニケーションをどのように深めていくか。

【岐阜県】農業クラブの活動をもっと地域に知ってもらうにはどうすればいいか。

【岐阜県】実習製品をふるさと納税の御礼品で地域を元気にするにはどうすればよいか。

【鳥取県】県連として農業高校をＰＲする活動として、どのようなことをしているのか。

【長崎県】連盟としてどのようにして地域と連携を行うべきか。

【長崎県】県内の農ク活動を全体的な動きとするにはどのような活動を続けて、又は、連携すると良いか。

【長崎県】クラブ員の農ク活動を積極的にするために、農業クラブ役員がすべきことは何か

【長崎県】海外の農業クラブ員との情報交換を実現するためにはどうしたらよいか。

【長崎県】今までに連盟として行ってきた会議や取り組みに対して検証を行い、次の活動につなげるどのようにすべきか。

【熊本県】クラブ員が身につけた知識や技術を、地域をはじめ、広い範囲に普及・浸透させるには、どのような取り組みが求められるか。

【宮崎県】農業クラブを一般の方にＰＲするためにはどうすればよいか。

【鹿児島県】耕作放棄地をなくすために農業クラブ員ができることは何か。

【鹿児島県】農業高校の魅力を知ってもらいたい。

**B　内への働きかけに関すること（クラブ員一人ひとりへ、農業クラブの活性化等）**

【岩手県】単位クラブ同士の交流にはどのような工夫が必要か。

【岩手県】農業鑑定競技に向けたクラブ員全員の取り組みにはどのような方法があるか。

【宮城県】農業系への進路へ進むクラブ員を増やすために必要な活動には何があるか。

【秋田県】他の単位クラブと連携し販売やイベントを行う場合、どのような課題があるか、また、それを解決するにはどのようにすべきか。

【山形県】農業クラブ活動を楽しみながら達成感を得られるような活動にするためにクラブ員自身がどんな工夫をするべきか。

【山形県】発表会及び競技会種目の検討について、今のままでよいのか。

【山形県】全国大会式典の内容の改善及び見直しについて。

【山形県】全国大会開催県の輪番について。（現状を見据えて。）

【栃木県】ブロック連盟で交流を行う機会は何かないか。

【千葉県】農業クラブ活動活性化にために、全国統一基準（県大会・ブロック大会）を作成やブロックの見直し等、クラブ員としてどのような働きかけができるのか。

【新潟県】農業高校生に農業クラブ員の自覚を持たせるためにどうするべきか。

【新潟県】各種県大会を活性化させ、競技力を向上させるために、クラブ員にできることは何か。

【岐阜県】全国の農業クラブ員との交流を充実させるにはどのような活動が必要か。

【岐阜県】県連全体が統一した意識を持ち、農業クラブ活動の活性化に繋がる方法はないか。

【岐阜県】各単位クラブ間での交流を増やし、岐阜県全体で農業を活性化する取り組みはできないのか。

【岐阜県】環境調査以外に全国のクラブ員が一斉に取り組める活動はないか。

【兵庫県】各都道府県連盟内の連携を深め、活動を盛り上げるにはどうすればいいか。

【兵庫県】各都道府県連盟の特徴を知り、それらを活かし、農業クラブ活動を活性化させるにはどうすればいいか。

【和歌山県】校内の農業クラブの活性化が難しい。

【広島県】県連盟大会の発表会・競技会（出場者・運営者）の質を高めるためには，どのような取組が考えられるだろうか。

【長崎県】ブロック連盟での連携をどうすすめるべきか。

【長崎県】県連農業クラブ員としての誇りを持つにはどのような活動がかんがえられるか。

【長崎県】クラブ員の農ク活動を積極的にするために、農業クラブ役員がすべきことは何か。

【長崎県】全国大会入賞率を高めるための県全体として取り組みにはどのようなものがあるか。

【長崎県】日連・ブロック連盟で行っている活動を広くクラブ員に浸透させるにはどうすればよいか。

【熊本県】小さな単位クラブどうしが連携することによってできる農クの活性化には、どのようなものがあるか。

【熊本県】農業クラブ活動を全員の農業クラブ員が意識を持って取り組むためにはどのような働きかけがあるか。

【鹿児島県】他県の農業クラブ員との交流を増やすにはどうすればいいか。

【鹿児島県】農業クラブ役員の知識向上。

**C　農業の未来に関すること**

【岩手県】なぜ農業従事者には高齢者が多いのか。

【宮城県】日連全体で農業従事者を増やすために、子どもたちに対して何かできることはないか。

【山形県】世界的な活躍を見せる農機具メーカーや農業ビジネスなどグローバル産業として活躍している民間企業でのインターンシップなど、クラブ員に日本の最先端の技術や状況を伝える機会はできないか。

【山形県】農業や林業を後継する若手が育たない理由と、どのようにすれば、後継者は増えるか。

【山形県】クラブ員自身が農業後継者になりたいと思える農業クラブ活動はどうあるべきか。

【福島県】農業に良いイメージを持たせるためにできることはないか。

【栃木県】農業後継者を増やすために連盟としてどんな働きができるか。

【千葉県】日本の農業を守っていく人材を育てるために、クラブ員として農業クラブ活動をどのように変えていく必要があるのか。

【新潟県】知識を生かした活動で何ができるか。

【新潟県】世界的な食料不足に貢献できる農業クラブ活動にはどのようなものがあるか。

【新潟県】農業以外の専門高校と連携して、地域活性化を目指すために必要なことは何か。

【岐阜県】新規就農者を増やすために農業クラブができることは何か。

【岐阜県】担い手を育成する手段にはどのような方法があるか。

【岐阜県】若い世代の農業の興味を高めるためにできることはどのようなことがあるか。

【岐阜県】農業従事者が減り、耕作放棄地が増えている中でどのようにその問題を解決していくか。

【岐阜県】岐阜県で農業をやる若者を増やすために、できることはないか。

【岐阜県】次の世代に地元農業を繋げるために、農業の魅力をどのようにして伝えていけば良いのか。

【岐阜県】食品ロスを減らし、食料自給率をあげるために農業クラブとして何ができるか。

【長崎県】オリンピックに向けて連盟としてできることは何か。

【長崎県】日本農業の明るい未来を意識できる具体的な活動は何をするとよいのか。

【長崎県】日本の農業を守るために、農業高校ができることはなにか。

【長崎県】農業の楽しさを広めて、就農者を増やすにはどうすればよいか。

【長崎県】関連産業を含めた農業従事者を増やすにはどうすれば良いか。

【熊本県】多くのクラブ員が、地域の農業の実態について知り、地域や未来に貢献するためには、どのような活動に取り組む必要があるか。

【宮崎県】農業高校生がグローバル化の進む中で何ができるか。

【宮崎県】農業の後継者を増やすにはどうすればよいか。

【宮崎県】ＦＦＪの環境調査の取り組みを今後どのようにするか。

【鹿児島県】未来の農業を担う，小中学生や幼児に農業の魅力を伝えるにはどうしたらいいか。

【鹿児島県】鹿児島の未来の農業の発展。